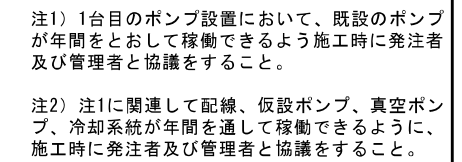
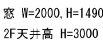


農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区 繰7-2工区 当初

図 面 目 録			
当初 番号	図面名称	図面番号	備 考
1	全体計画平面図	1/70	
2	一般平面図	2/70	
3	現況平面図	3/70	参考図面
4	2号ポンプ設置後平面図(電気仮設配線図含む)	4/70	
5	一般断面図	5/70	
6	現況断面図	6/70	参考図面
7	撤去機器フローシート	7/70	
8	2号ポンプ設置後撤去機器フローシート(1号ポンプ対象)	8/70	
9	機器撤去平面図	9/70	
10	既設小配管撤去図(参考)	参考3/70	
11	機器撤去断面図	13/70	
12	既設基礎撤去図	14/70	
13	更新機器フローシート	15/70	
14	2号ポンプ設置後更新機器フローシート(1号ポンプ対象)	16/70	
15	基礎更新図	17/70	
16	更新基礎図・配筋図(1)	18/70	
17	更新基礎図・配筋図(2)	19/70	
18	小配管系統図	21/70	
19	2号ポンプ設置後小配管系統図	22/70	参考図面
20	燃料系付帯設備	23/70	参考図面
21	自家発電設備配管フローシート	24/70	参考図面
22	非常用発電装置据付図	25/70	参考図面
23	単線結線図	27/70	参考図面
24	配線系統図(1)	28/70	参考図面
25	配線系統図(2)	29/70	参考図面
26	換気設備図	31/70	
27	換気設備建築改修図	32/70	
28	NO.1給気扇開口部詳細図	33/70	
29	NO.2給気扇・No.3排気扇開口部詳細図	34/70	
30	No.4エンジン排風ダクト開口部詳細図	35/70	
31	仮設締切 参考図	69/70	
32	燃料貯油槽構造図	4/16	
33	一般断面図	3-1	
34	渦流防止板構造図(1)	20-1	
35	渦流防止板構造図(2)	20-2	
36	渦流防止板構造図(3)	20-3	
37	渦流防止板仮設図(1次施工)	20-5	
38	渦流防止板仮設図(2次施工)	20-6	



一般平面図 S=1:50

主ポンプ仕様

製作・据付

据付のみ

南

2号

北

1 号

1号ポンプ設備 据付のみ

据付のみ

据付のみ

引込開閉器盤は屋外

西

注1) 1台目のポンプ設置において、既設のポンプが年間をととして稼働できるよう施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

注2) 注1に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却系統が年間を通して稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

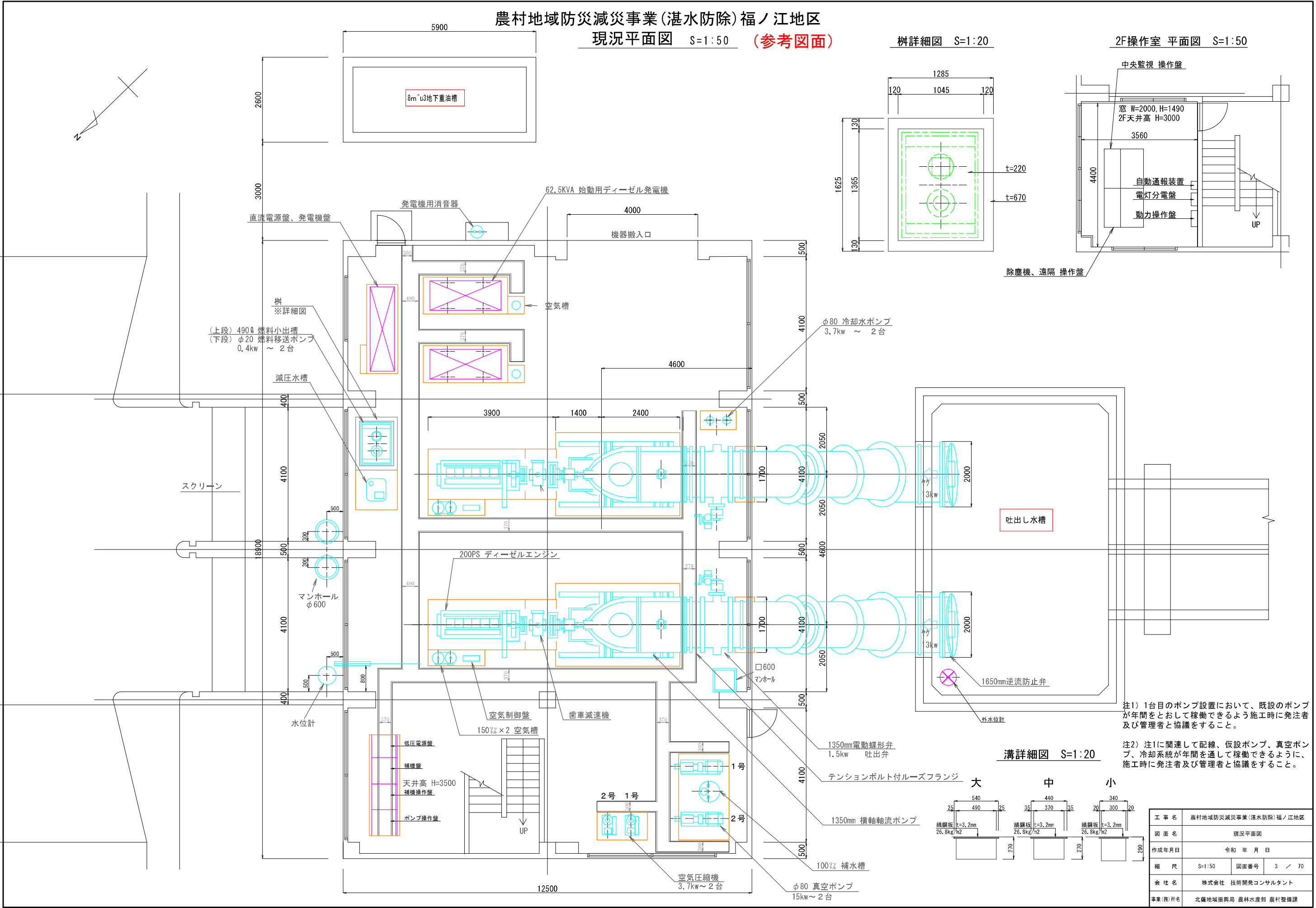
Downloaded from <http://www.jstor.org/stable/2346191> on Tue, 20 Jun 2016 12:01:00 UTC
All use subject to [JSTOR Terms and Conditions](#)

图 面 名	一般平面图
-------	-------

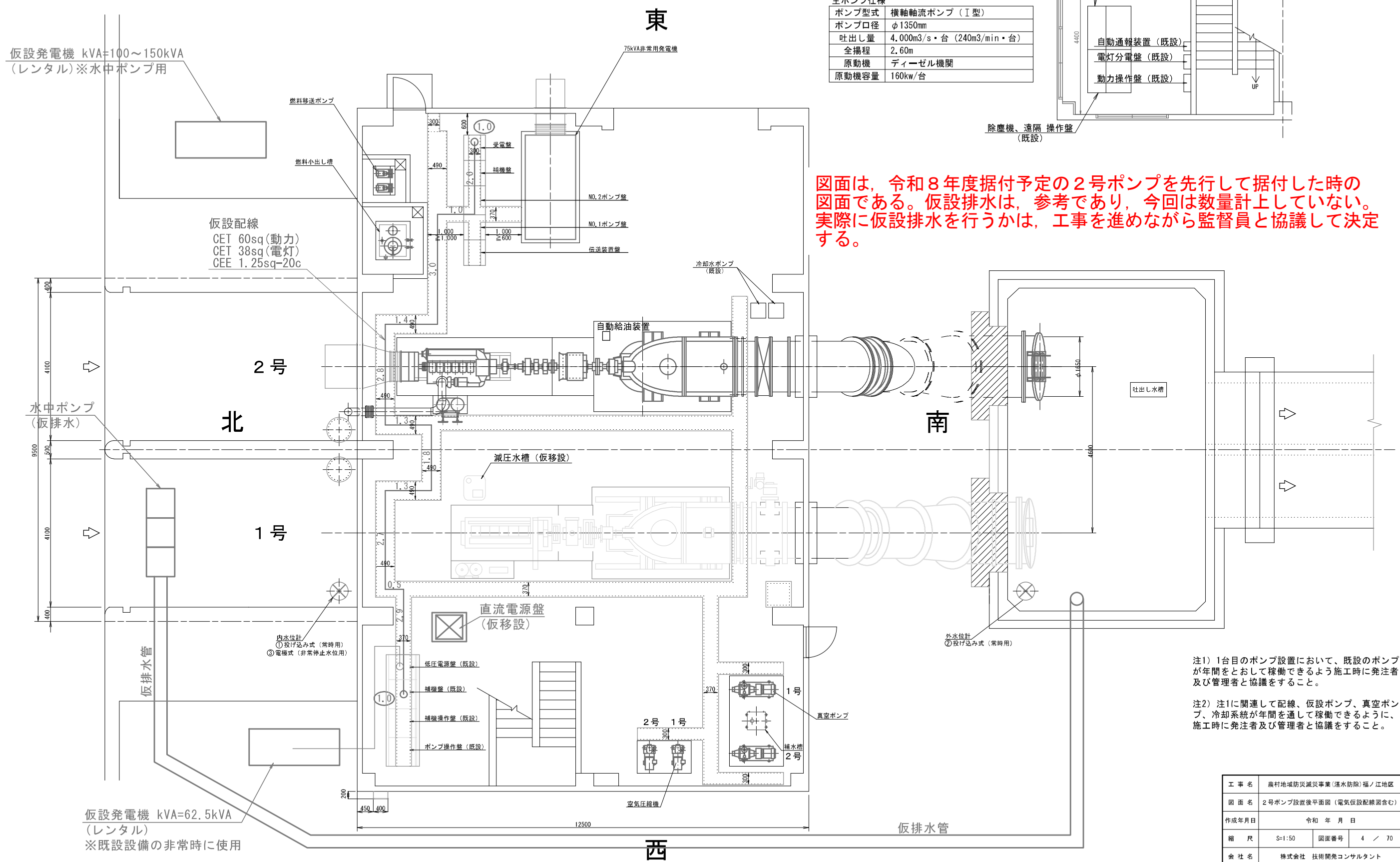
作成年月日 令和 年 月 日

縮 尺	S=1:50	図面番号	2 / 70
-----	--------	------	--------

会 社 名	株式会社 技術開発コンサルタント
-------	------------------



農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区
2号ポンプ設置後平面図 S=1:50
(電気仮設配線図含む)

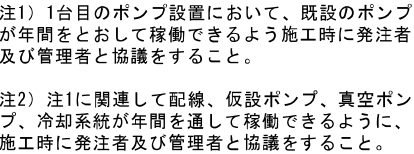


注1) 1台目のポンプ設置において、既設のポンプが年間をとおして稼働できるよう施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

注2) 注1に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却系統が年間を通して稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

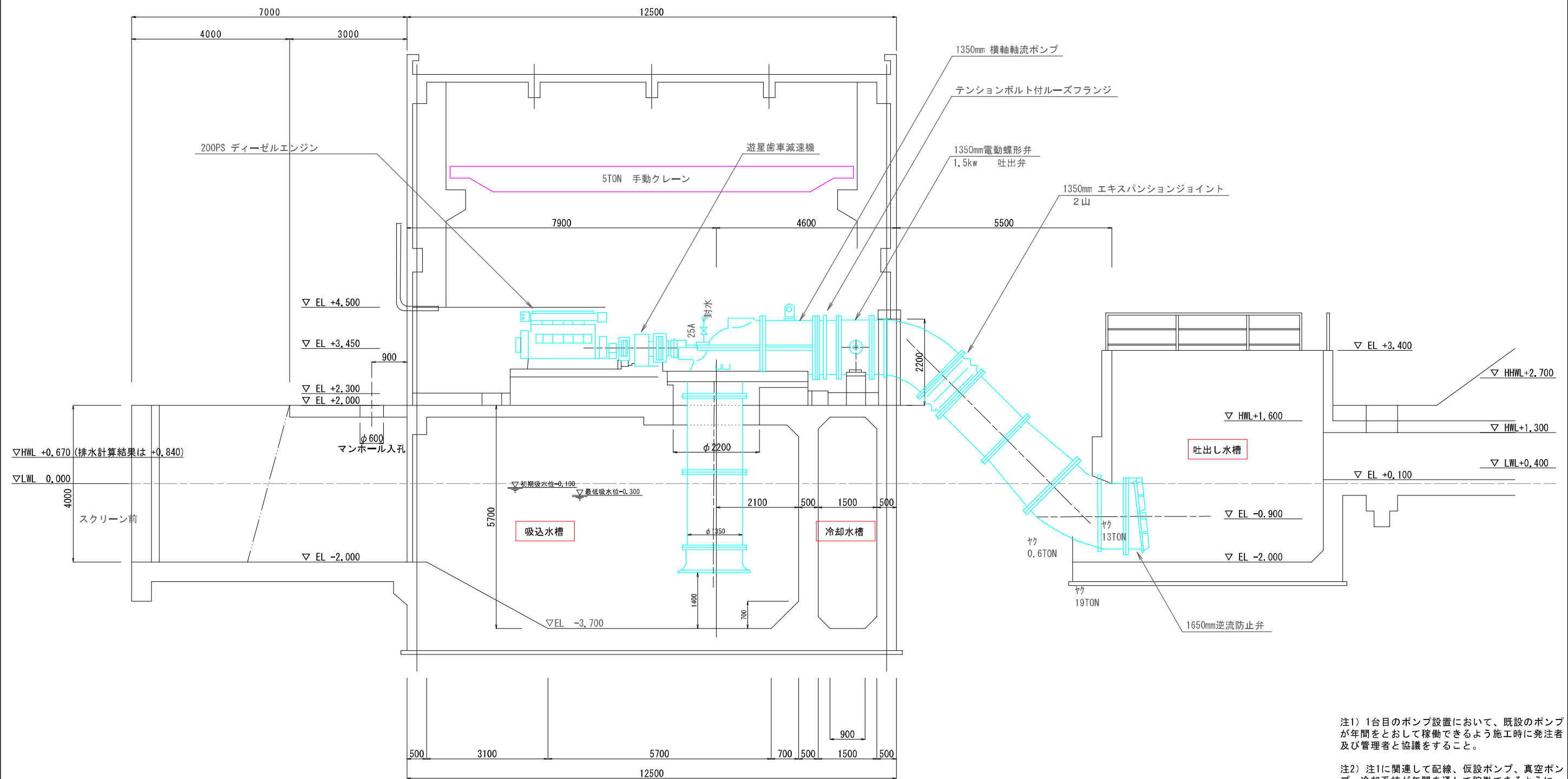
工 事 名	農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区		
図 面 名	2号ポンプ設置後平面図(電気仮設配線図含む)		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮 尺	S=1:50	図面番号	4 / 70
会 社 名	株式会社 技術開発コンサルタント		
事業(務)所名	北薩地域振興局 農林水産部 農村整備課		

一般断面图 S=1:50



工 事 名	農村地域防災減災事業（湛水防除）福ノ江地区		
図 面 名	一般断面図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮 尺	S=1:50	図面番号	5 / 70
会 社 名	株式会社 技術開発コンサルタント		
事業（所）名	北薩地域振興局 農林水産部 農村整備課		

農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区
現況断面図 S=1:50 (参考図面)



注1) 1台目のポンプ設置において、既設のポンプが年間をととして稼働できるよう施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

注2) 注1に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却系統が年間を通して稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

工 事 名	農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区		
図 面 名	現況断面図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮 尺	S=1:50	図面番号	6 / 70
会 社 名	株式会社 技術開発コンサルタント		
事業(務)所名	北薩地域振興局 農林水産部 農村整備課		

撤去機器フローシート

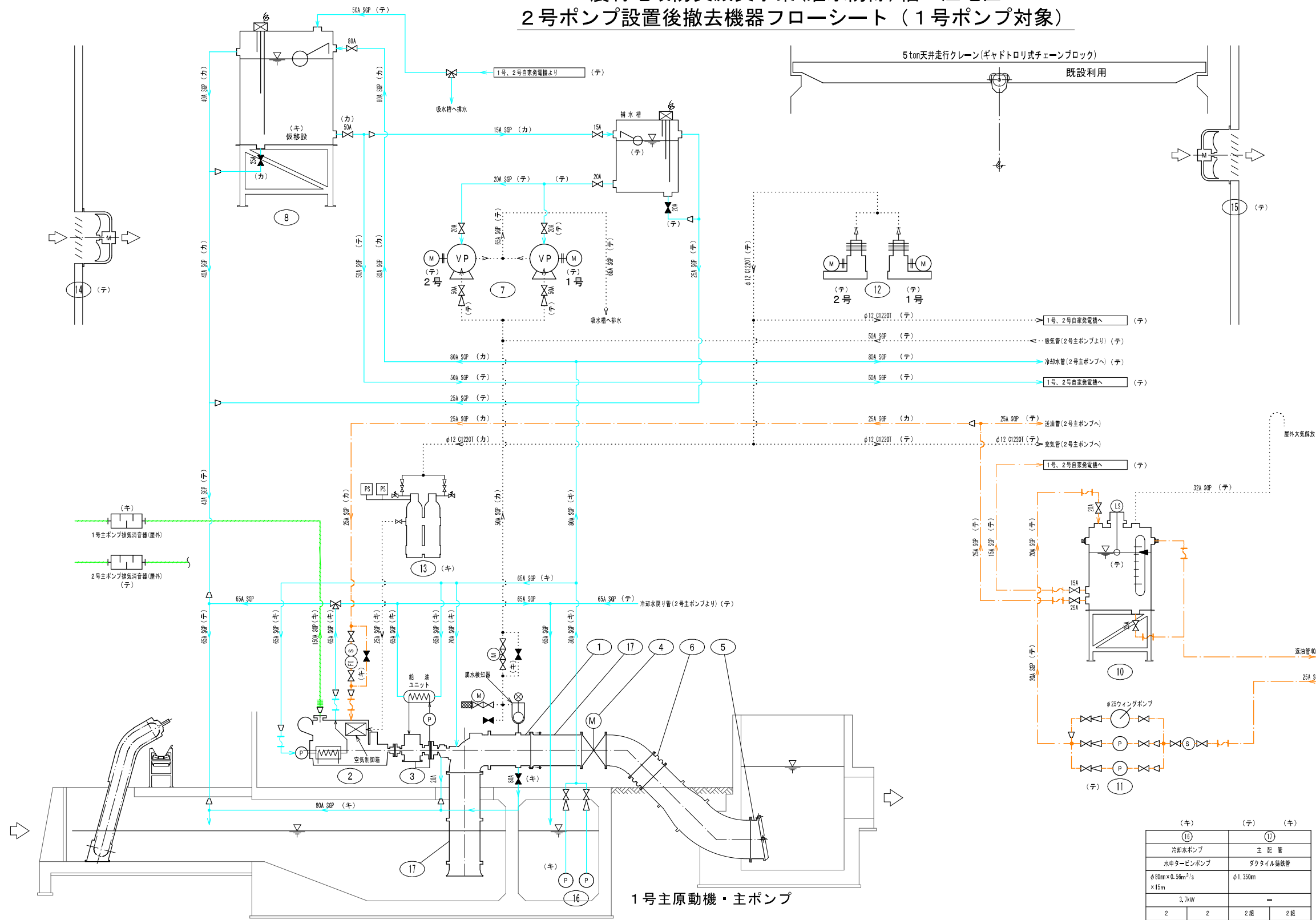


機 器 番 号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
機 器 名 称	主 本 泵	主 原 動 機	造 車 送 液 機	吐 出 弁	逆 止 弁	可 倒 管	真 空 ポンプ	派 圧 水 源	屋 外 燃 料 貯 油 槽	燃 料 小 出 口 槽	燃 料 送 液 ポンプ	空 気 圧 縮 機	給 油 空 気 槽	給 気 ファン	排 気 ファン
形 式	横 動 軸 流 送 液 機	ディーゼル機関	逆 車 送 液 送 液 機	電 機 横 動 弁	フ ラ ッ プ 弁	直 F ム 可 倒 管	水 封 式 真 空 ポンプ	鋼 板 製 角 形 貯 水 槽	地 下 池 2 室 貯 水 塔	鋼 板 製 丸 形 貯 水 タンク	直 車 ポンプ	2 段 空 気 圧 縮 機	鋼 板 製 派 圧 空 気 槽	壁 掛 形 有 圧 箱	壁 掛 形 有 圧 箱
仕 様	φ1,350mm×240mm ³ / min×2,20m	200PS		φ1,550mm×L850mm	φ1,650mm×4 枚 弁 丸 形		φ1350mm×L700mm	φ800mm×8,00mm ³ / min × 最 大 延 長 500mm	有 効 貯 水 容 量 300L	貯 水 容 量 8,000L	有 効 容 量 490L	φ200mm×30L/min× 2,5kg/cm ²	17.9m ³ /hr×30kg/cm ²	150L×22kg/cm ² ×2 連	
電 動 機 出 力	—	初期潤滑油 P0.75kw	初期潤滑油 P0.75kw	1.5kw	—	—	15kw	—	—	—	—	0.4kw	3.7kw	—	1.5kw
数 量	全 体 今 回	2 2	2 2	2 2	2 2	2 2	2 2	1 1	1 1	1 1	1 1	2 2	2 2	4 4	2 2
備 考			給油ユニット付			2 台 中 1 台 予 備 補 水 槽 1 基 を 含 む		鋼 製 炭 台 付	第 3 石 油 庫 (A 重 油)	第 3 石 油 庫 (A 重 油)	2 台 中 1 台 予 備 ドレ ン 分 離 機 付	2 台 中 1 台 予 備	2 連 中 1 連 予 備 ドレ ン 分 離 機 付	機 別 1m56dB (A) 以 下	機 別 1m64dB (A) 以 下

工 事 名	農村地域防災減災事業（浸水防除）福ノ江地区		
図 面 名	撤去機器フローシート		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮 尺	一	図面番号	7 / 70
会 社 名	株式会社 技術開発コンサルタント		
事業（所）名	北薩地域振興局 農林水産部 農村整備課		

農村地域防災減災事業（湛水防除）福ノ江地区 繰7-2工区 当初 -7-

農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区
2号ポンプ設置後撤去機器フローシート (1号ポンプ対象)



凡例

記号	名称	記号	名称
—	冷却水管	—	安全弁
—	排水管	(P)	増設ポンプ一般
—	燃料配管	(M)	電動機一般
—	給油空気管	(PS)	圧力スイッチ
—	吸気管	(P)	圧力計
—	排気管	(T)	温度計
—	通気管	(FM)	流量計
—	仕切り弁(常時閉)	(FI)	燃料流量計
—	仕切り弁(常時開)	(S)	ストレーナ
—	逆止弁	(LS)	レベルスイッチ
—	レギュレーサ	—	フロートスイッチ
—	可撓継手	—	フート弁
—	排気たわみ継手	—	ボールタップ
—	電動弁	—	電極式水位計
—	電動弁	—	防火ダンパ
—	空気抜き弁	—	

撤去凡例

	1次	2次
(キ)	既設利用	撤去
(力)	既設撤去一仮配管	仮配管撤去
(チ)	撤去・新設 撤去	

撤去機器一覧

機器番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
機器名称	主ポンプ	主原動機	過車減速機	吐出弁	逆止弁	可撓管	真空ポンプ	減圧水槽	屋外燃料貯油槽	燃料小出し槽	燃料移送ポンプ	空気圧縮機	給油空気槽	給油ファン	排気ファン
形式	横軸軸流ポンプ	ディーゼル機関	減速機半減速機	電動機形弁	フラップ弁	頂Fゴム可撓管	水封式真空ポンプ	鋼板製角形貯水槽	地下埋2重殻タンク	鋼板製L形燃料タンク	管車ポンプ	2段空冷立形圧縮機	鋼板製油圧空気槽	壁掛形有圧扇	壁掛形有圧扇
仕様	φ1,350mm×240mm ³ / _{min} ×2,20m	200PS		φ1,350mm×L,850mm	φ1,650mm×4枚弁丸形	φ1350mm×L,700mm	φ80mm×6,0m ³ /min ×最高=330mmHg	有効貯水量300L	貯容量8,000L	有効容量400L	φ20mm×30L/min× 2,5kg/cm ²	17,9m ³ /hr×30kg/cm ²	150L×32kg/cm ² ×2連		
電動機出力	—	初期潤滑油P,0.75kW	初期潤滑油P,0.75kW	1.5kW	—	—	15kW	—	—	—	0.4kW	3.7kW	—	0.75kW	1.5kW
数量	全体	2	2	2	2	2	2	1	1	1	2	2	4	2	2
備考	(キ)	(チ)	(キ)	(チ)	(キ)	(チ)	(チ)	(チ)	(チ)	(チ)	(チ)	(チ)	(チ)	(チ)	(チ)

エンジン冷却用

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
2台中1台予備 排水槽1基を含む	2台中1台予備 排水槽1基を含む	2台中1台予備 排水槽1基を含む	2台中1台予備 排水槽1基を含む	2台中1台予備 排水槽1基を含む	2台中1台予備 排水槽1基を含む	2台中1台予備 排水槽1基を含む	2台中1台予備 排水槽1基を含む	2台中1台予備 排水槽1基を含む	2台中1台予備 排水槽1基を含む	2台中1台予備 排水槽1基を含む	2台中1台予備 排水槽1基を含む	2台中1台予備 排水槽1基を含む	2台中1台予備 排水槽1基を含む	2台中1台予備 排水槽1基を含む

配管については、現状の配管と当初設計に差異が生じている恐れがあり、配管の撤去および仮配線については、再度調査を行った上で施工を行うこと。

工事名

農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区

図面名

2号ポンプ設置後撤去機器フローシート (1号ポンプ対象)

作成年月日

令和 年 月 日

縮尺

— 図面番号 8 / 70

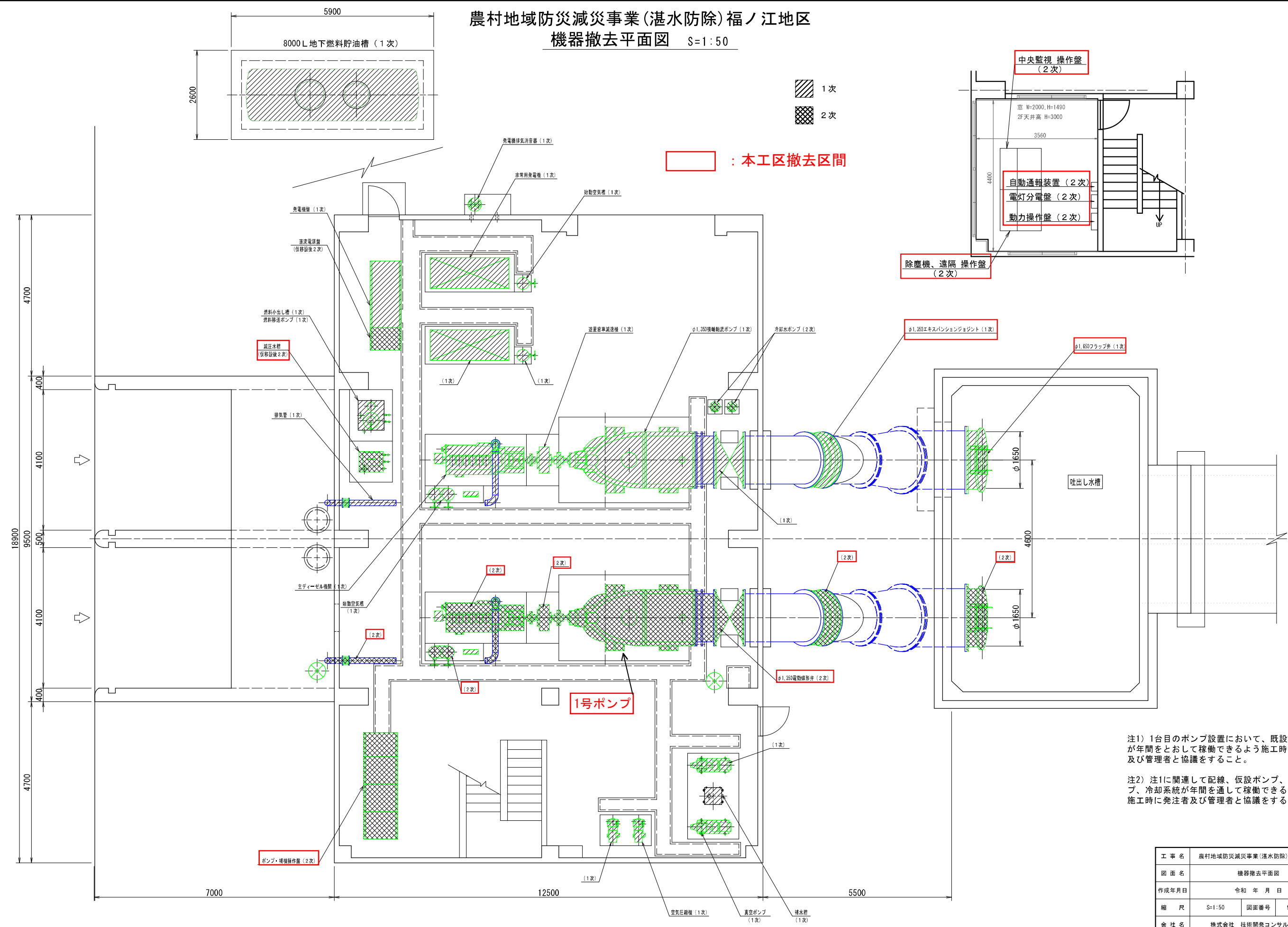
会社名

株式会社 技術開発コンサルタント

事業(務)所名

北薩地域振興局 農林水産部 農村整備課

農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区
機器撤去平面図 S=1:50



注1) 1台目のポンプ設置において、既設のポンプが年間をとおして稼働できるよう施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

注2) 注1に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却系統が年間を通して稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

工 事 名	農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区		
図 面 名	機器撤去平面図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮 尺	S=1:50	図面番号	9 / 70
会 社 名	株式会社 技術開発コンサルタント		
事業(務)所名	北薩地域振興局 農林水産部 農村整備課		

注1. 図のハッチングは、今回撤去対象機器を示す。

番号	設 置 区 間	管種	管径 (mm)
1	1号燃料移送ポンプ(既設)より ~ 燃料小出し槽(既設)へ	SGP	20
2	2号燃料移送ポンプ(既設)より ~ 燃料小出し槽(既設)へ	SGP	20
3	燃料小出し槽(既設)より ~ 1号自家発電機(既設)へ	SGP	15
4	小配管番号3より ~ 2号自家発電機(既設)へ	SGP	15
5	小配管番号55より ~ 1号ディーゼルエンジン(既設)へ	SGP	25
6	1号空気圧縮機(既設)より ~ 1号ディーゼルエンジン(既設)空気槽へ	Cu	12
7	主1号ポンプ(既設)より ~ 1号真空ポンプ(既設)へ	SGP	50
8	冷却水ポンプ配管下流部より ~ 小配管番号11へ	SGP	80
9	小配管番号8より ~ 1号ポンプディーゼルエンジン(既設)へ	SGP	65
10	1号ポンプディーゼルエンジン(既設)より ~ 排気消音機(既設)へ	SGP	150
11	小配管番号8より ~ 歯車減速機給油ユニット(既設)へ	SGP	25
12	歯車減速機給油ユニット(既設)より ~ 冷却水槽放流管(既設)へ	SGP	25
13	1号ポンプディーゼルエンジン(既設)より ~ 冷却水槽放流孔へ	SGP	65
14	1号ポンプディーゼルエンジン(既設)より ~ 吸込水槽放流孔へ	SGP	65
15	小配管番号8より ~ 主1号ポンプ(既設)へ	SGP	20
16	燃料小出し槽(既設)の屋外大気開放管	SGP	32
17	減圧水槽(既設)より ~ 1号自家発電機(既設)へ	SGP	32
18	小配管番号17より ~ 2号自家発電機(既設)へ	SGP	32
19	1号自家発電機(既設)より ~ 減圧水槽(既設)へ	SGP	32
20	2号自家発電機(既設)より ~ 小配管番号19へ	SGP	32
21	小配管番号8より ~ 補水槽(既設)へ	SGP	32
22	補水槽(既設)より ~ 吸込水槽放流孔への配管へ	SGP	32
23	減圧水槽(既設)より ~ 吸込水槽放流孔へ	SGP	65
24	減圧水槽(既設)底部より ~ 吸込水槽放流孔への配管へ	SGP	25
25	補水槽(既設)より ~ 1号真空ポンプ(既設)へ	SGP	25
26	補水槽(既設)より ~ 2号真空ポンプ(既設)へ	SGP	25
27	小配管番号6より ~ 1号自家発電機(既設)へ	Cu	12
28	小配管番号27より ~ 2号自家発電機(既設)へ	Cu	12
30	1号真空ポンプ(既設)より ~ 吸込水槽放流管(既設)へ	SGP	80
32	屋外燃料貯油槽(既設)より ~ 1号燃料移送ポンプ(既設)へ	SGP	25
33	小配管番号32より ~ 2号燃料移送ポンプ(既設)へ	SGP	25
34	燃料小出し槽(既設)より ~ 屋外燃料貯油槽(既設)へ	SGP	40
35	燃料小出し槽(既設)底部より ~ 配管番号34小配管(40A)に接続	SGP	25
36	屋外燃料貯油槽(既設)の通気管	SGP	32
55	燃料小出し槽(既設)より ~ 2号ディーゼルエンジン(既設)へ	SGP	25
56	小配管番号6より ~ 2号ディーゼルエンジン(既設)空気槽へ	Cu	12
57	主2号ポンプ(既設)より ~ 主2号ポンプ(既設)へ	SGP	50
58	小配管番号8より ~ 減圧水槽(既設)へ	SGP	80
59	小配管番号58より ~ 2号ポンプディーゼルエンジン(既設)へ	SGP	65
60	2号ポンプディーゼルエンジン(既設)より ~ 排気消音機(既設)へ	SGP	150
61	小配管番号58より ~ 歯車減速機給油ユニット(既設)へ	SGP	25
62	歯車減速機給油ユニット(既設)より ~ 冷却水槽放流管(既設)へ	SGP	25
63	2号ポンプディーゼルエンジン(既設)より ~ 冷却水槽放流孔へ	SGP	65
64	2号ポンプディーゼルエンジン(既設)より ~ 吸込水槽放流孔へ	SGP	65
65	小配管番号58より ~ 主2号ポンプ(既設)へ	SGP	20

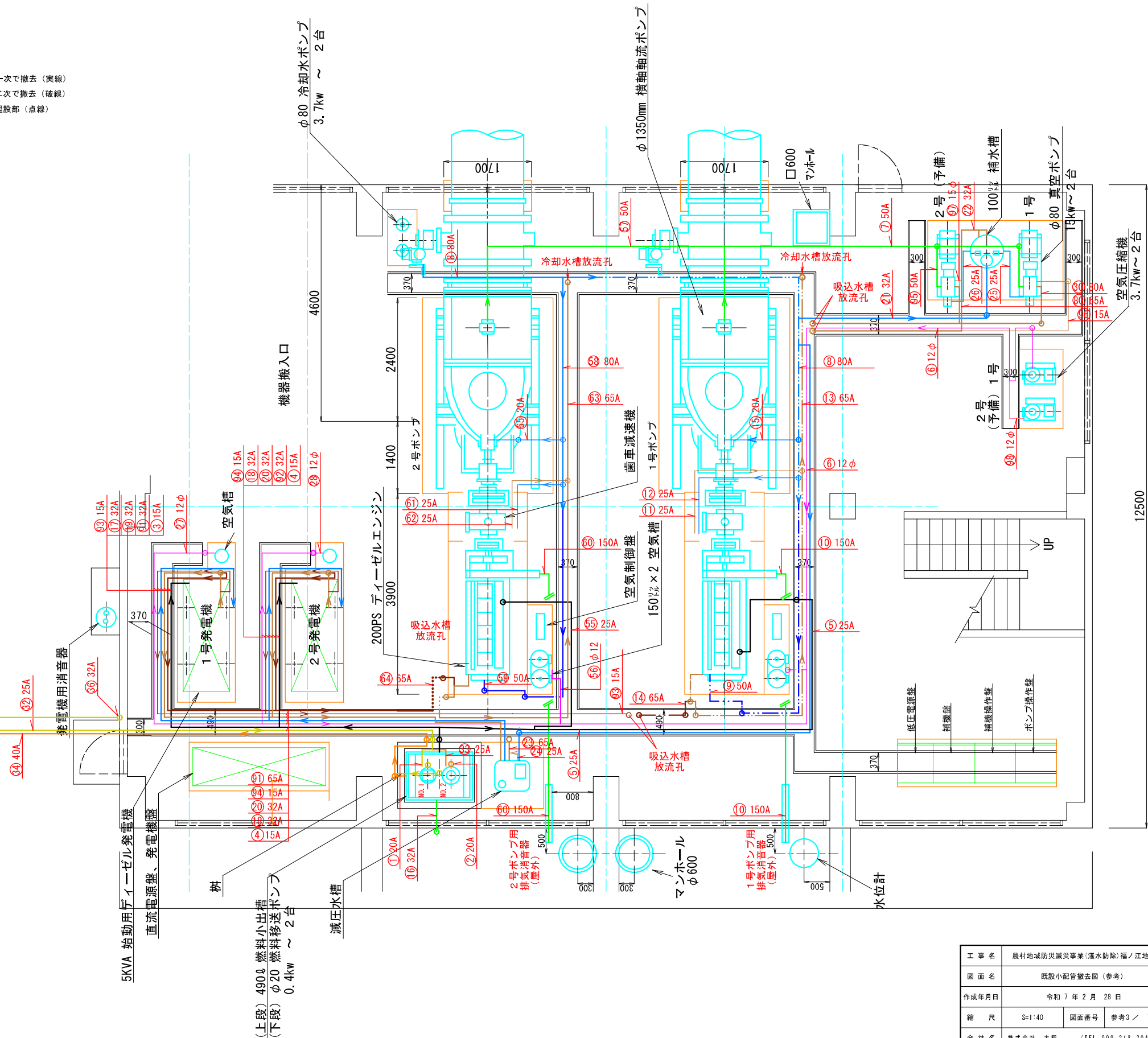
※色の説明

変更
新設一既設への変更
流向変更
追加

※線種の説明

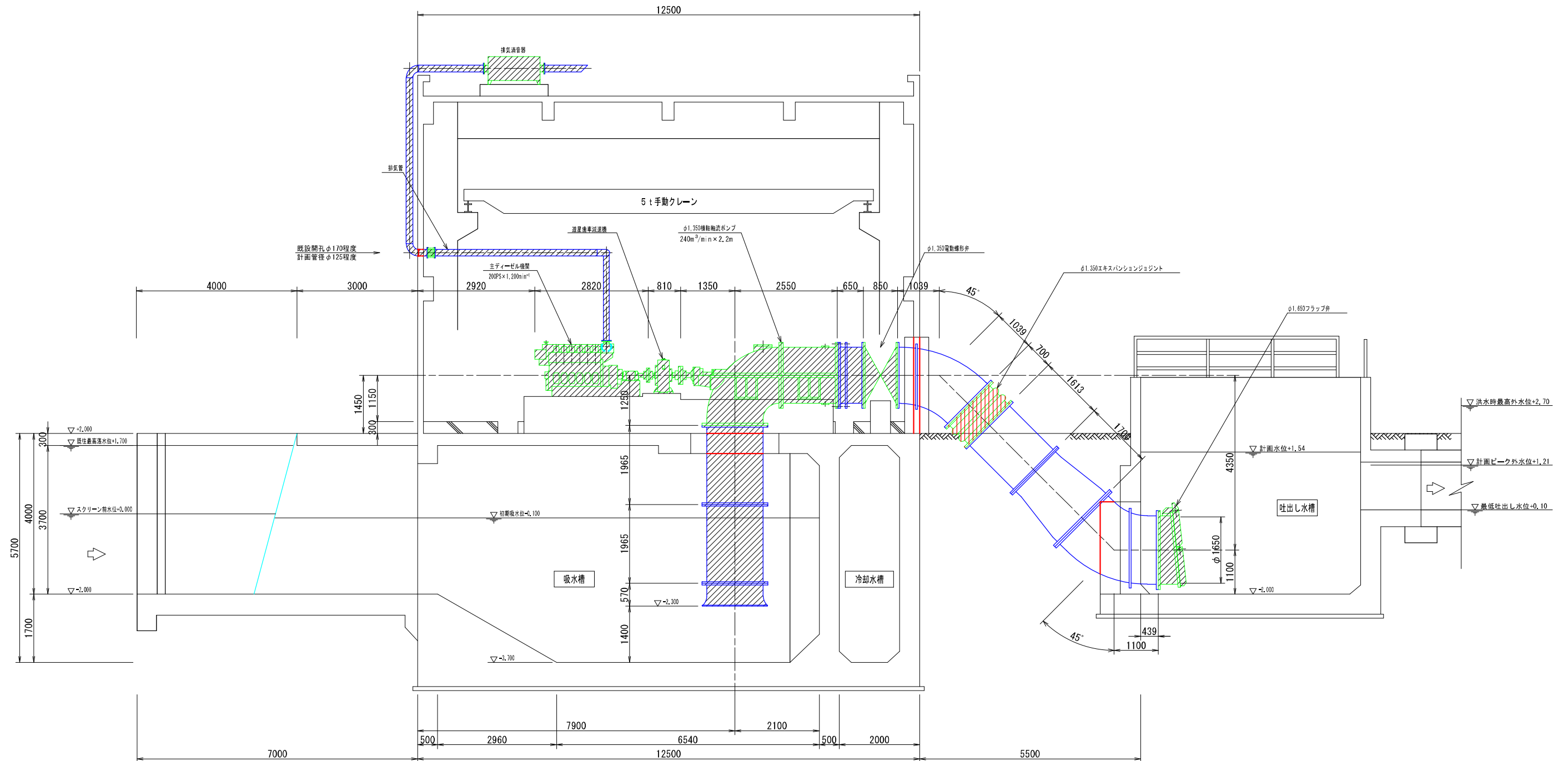
———— 一次で撤去（実線）
- - - - 二次で撤去（破線）
..... 埋設部（点線）

※施工にあたっては、図面により現地を確認・調査し、図面上の位置や数量と現地の状況が乖離がないか確認のうえ施工すること。



工 事 名	農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区		
図 面 名	既設小配管撤去図 (参考)		
作成年月日	令和 7 年 2 月 28 日		
縮 尺	S=1:40	図面番号	参考3 / 70
会 社 名	株式会社 大 翔 (TEL 099-218-3041)		
事業(所)名	北薩地域振興局 農林水産部 農村整備課		

機器撤去断面図 S=1:50



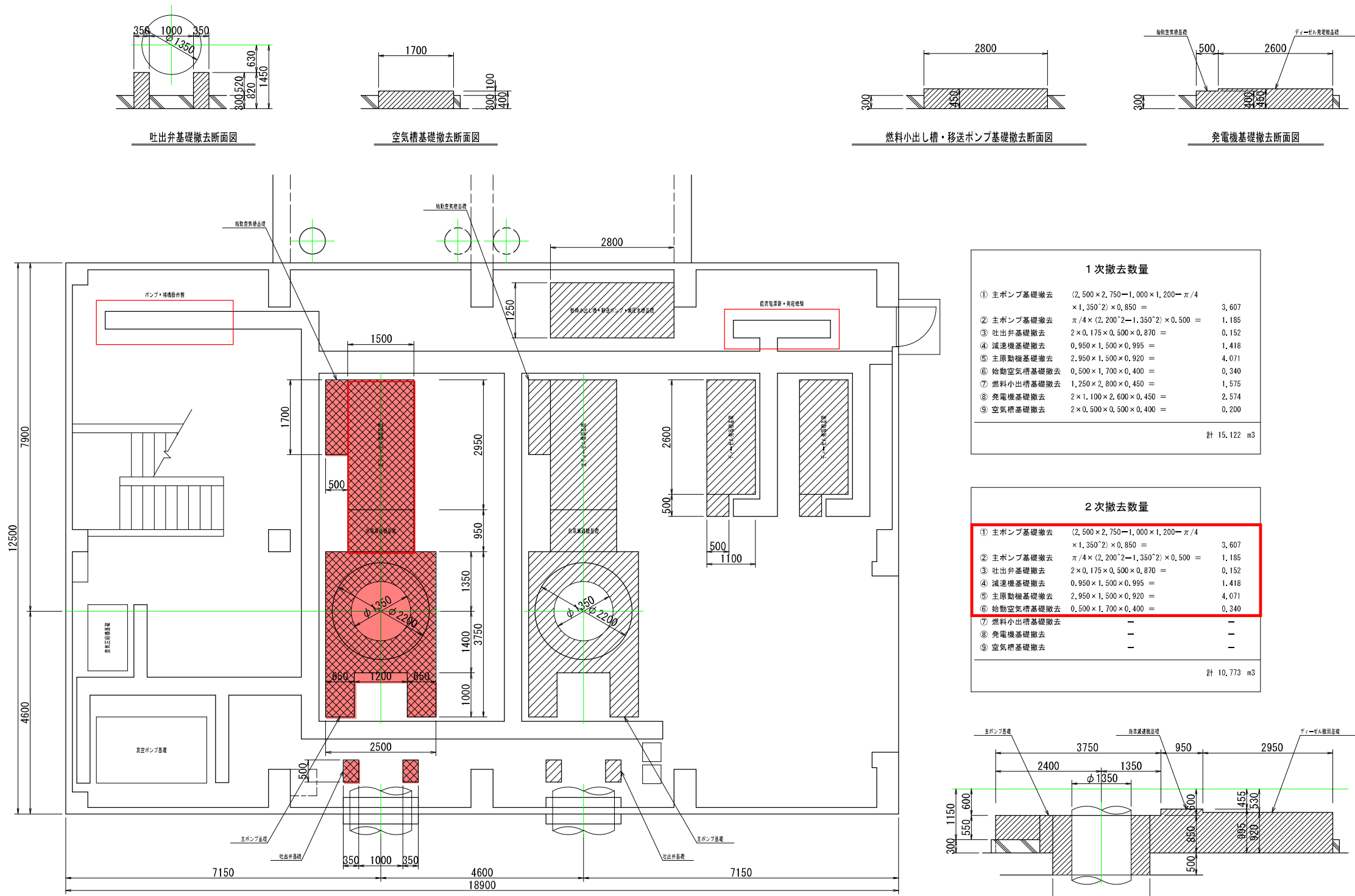
注1) 図のハッチングは、今回撤去対象機器を示す。

注2) 1台目のポンプ設置において、既設のポンプが年間をとおして稼働できるよう施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

注3) 注1に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却系統が年間を通して稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

工 事 名	鹿村地域防災減災事業(洪水防除)福ノ江地区		
図 面 名	機器撤去断面図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮 尺	S=1:50	図面番号	13 / 70
会 社 名	株式会社 技術開発コンサルタント		
事業(所)名	北薩地域振興局 農林水産部 鹿村整備課		

農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区
既設基礎撤去図 S=1:50



1次撤去数量		
① 主ポンプ基礎撤去	$(2,500 \times 2,750 - 1,000 \times 1,200 - \pi/4 \times 1,350^2) \times 0,850 =$	3,607
② 主ポンプ基礎撤去	$\pi/4 \times (2,200^2 - 1,350^2) \times 0,500 =$	1,185
③ 吐出弁基礎撤去	$2 \times 0,175 \times 0,500 \times 0,870 =$	0,152
④ 減速機基礎撤去	$0,950 \times 1,500 \times 0,995 =$	1,418
⑤ 主原動機基礎撤去	$2,950 \times 1,500 \times 0,920 =$	4,071
⑥ 始動空気槽基礎撤去	$0,500 \times 1,700 \times 0,400 =$	0,340
⑦ 燃料小出し槽基礎撤去	$1,250 \times 2,800 \times 0,450 =$	1,575
⑧ 発電機基礎撤去	$2 \times 1,100 \times 2,600 \times 0,450 =$	2,574
⑨ 空気槽基礎撤去	$2 \times 0,500 \times 0,500 \times 0,400 =$	0,200
計		15,122 m ³

2次撤去数量		
① 主ポンプ基礎撤去	$(2,500 \times 2,750 - 1,000 \times 1,200 - \pi/4 \times 1,350^2) \times 0,850 =$	3,607
② 主ポンプ基礎撤去	$\pi/4 \times (2,200^2 - 1,350^2) \times 0,500 =$	1,185
③ 吐出弁基礎撤去	$2 \times 0,175 \times 0,500 \times 0,870 =$	0,152
④ 減速機基礎撤去	$0,950 \times 1,500 \times 0,995 =$	1,418
⑤ 主原動機基礎撤去	$2,950 \times 1,500 \times 0,920 =$	4,071
⑥ 始動空気槽基礎撤去	$0,500 \times 1,700 \times 0,400 =$	0,340
⑦ 燃料小出し槽基礎撤去	-	-
⑧ 発電機基礎撤去	-	-
⑨ 空気槽基礎撤去	-	-
計		10,773 m ³

は2次撤去、その他は1次撤去

注1. 撤去対象は、図のハッチング部を示す既設基礎等の基礎とする。
2. 地下燃料タンク量は、すべて撤去とする。

注1) 1台目のポンプ設置において、既設のポンプが年間をととして稼働できるよう施工時に発注者及び管理者と協議をすること。
注2) 注1に関連して配線、仮設ポンプ、真空ポンプ、冷却系統が年間を通して稼働できるように、施工時に発注者及び管理者と協議をすること。

工 事 名	農村地域防災減災事業(湛水防除)福ノ江地区		
図 面 名	既設基礎撤去図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮 尺	S=1:50	図面番号	14 / 70
会 社 名	株式会社 技術開発コンサルタント		
事業(務)所名	北薩地域振興局 農林水産部 農村整備課		